

2 脳脊髄液減少症

頭、背中等を打つなどして、体に強い衝撃を受けることにより、脳脊髄を覆っている硬膜が損傷を受け、脳脊髄液が漏れ出すことにより、頭痛や頸部痛、めまい、倦怠感など様々な症状が起こること。怠けや不登校等の批判を受けるなど周囲の理解促進が必要であるとともに、原因が明確でない場合、児童生徒本人や保護者の精神的負担ともなり得る。学校においては、これらの症状がみられた場合は、脳脊髄液減少症の可能性を鑑み、安静にした上で、早期の医療機関受診を促す。

なお、県内における「脳脊髄液減少症対応可能医療機関」については、栃木県のホームページに掲載されているので、医療機関受診を検討している場合、参照するとよい。ただし、小児については、診断が難しい場合があるため、担当医師とよく相談するように勧める。

また、先進医療（硬膜外自家血注入療法）を実施している医療機関一覧が厚生労働省のウェブサイトに掲載されている。これらの情報を必要に応じて、児童生徒及び保護者に情報提供する。

事 務 連 絡
平成24年9月5日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課
各都道府県私立学校主管課
各国公立大学事務局
各国公立高等専門学校事務局
各公立大学法人事務局

御中

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課

学校におけるスポーツ外傷等による脳脊髄液減少症への適切な対応について

学校における事故の防止と事故後の適切な対応については、かねてから幼児、児童、生徒及び学生の安全確保の一環として取組をお願いしているところです。

スポーツ外傷等の後に、脳脊髄液が漏れ出し減少することによって、起立性頭痛（立位によって増強する頭痛）などの頭痛、頸部痛、めまい、倦怠、不眠、記憶障害など様々な症状を呈する脳脊髄液減少症とよばれる疾患が起こりうることは、これまで通知、各種会議等でお知らせしていたところです。

また、厚生労働省において、「脳脊髄液漏出症」の治療に関する硬膜外自家血注入療法（いわゆるブラッドパッチ療法）が先進医療の科学的評価において「適」とされました。これにより、施設基準に該当する保険医療機関からの届出に基づき保険診療との併用を認め、本年7月1日より先進医療としての治療が開始されているところです。

当該硬膜外自家血注入療法を実施する医療機関に関する情報が、以下の厚生労働省のホームページから確認することができますので、各学校やその設置者においては、当該医療機関に関する情報について周知いただき、適切に対応いただきますようお願いいたします。

〔先進医療を実施している医療機関一覧〕硬膜外自家血注入療法№63
<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryō/kan02.html>

さらに、各学校やその設置者におかれては、事故が発生した後、児童生徒等に頭痛やめまい等の症状が見られる場合には、安静を保ちつつ医療機関で受診をさせたり、保護者に連絡して医療機関の受診を促すなどの適切な対応が行われるようお願いいたします。

また、事故後の後遺症として通常の学校生活を送ることに支障が生じているにもかかわらず、まわりの人から単に怠慢である等の批判を受け、十分な理解を得られなかったことなどの事例があるとの指摘もなされています。

そのため、各学校においては、教職員等の脳脊髄液減少症に関する理解を深めるとともに、必要に応じ、養護教諭を含む教職員等が連携しつつ、個々の児童生徒等の心身の状態に応じ、学習面を含め学校生活の様々な面で適切にご配慮頂きますようお願いいたします。

なお、各都道府県教育委員会学校安全主管課にあつては、城内の市区町村教育委員会に対し、各都道府県私立学校主管課にあつては所管の私立学校等に対してこの趣旨を周知するようお願いいたします。

【本件照会先】
文部科学省スポーツ・青少年局
学校健康教育課学校安全係
電話：03-6734-2917（直通）
FAX：03-6734-3794

のうせきずいえきげんしょうしょう 脳脊髄液減少症

ってどんな病気？

原因は？

頭、背中、尾てい骨を打つなど、体に強い衝撃を受けることにより、脳脊髄を覆っている硬膜が損傷を受け、脳脊髄液が漏れ出し、減少することにより、様々な症状が起こります。

また、外傷に関係なく発症することもあります。低髄液圧症候群ていずいえきあつしょうこうぐんとも呼ばれています。

交通事故

- ・追突事故
- ・接触事故
- ・自転車転倒



スポーツ外傷

- ・ボールが頭に当たった
- ・欵棒から落ちた



特発性

- ・原因不明



症状は？

- ・頭、首、背中、腰の痛み
- ・めまい、体のだるさ、吐き気、耳鳴り
- ・集中力や思考力の低下、不眠

※ 起き上がると症状が悪化したり、天候の変化を受けやすいといわれています。



気をつけましょう！

- ・脳脊髄液減少症は、いつでも、誰にでも起こりえる病気です。
- ・交通事故やスポーツ外傷、転倒など、脳脊髄液減少症の原因となることが過去になかったか振り返り、思い当たる原因がある場合は、受診の際に医師に伝えましょう。
- ・なまけや精神的なものと簡単に判断したり、決めつけたりしないようにしましょう。



頭痛やめまい、体のだるさなどの
 症状が続く場合は、要注意です！
 早めに専門医療機関を受診しまし
 よう！

治療

- ・ブラッドパッチ療法※、対症療法（鎮痛等）、点滴、安静

※**ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）**
 患者自身の血液を採取し、損傷した硬膜の外側に注入し、
 血液凝固作用で髄液の漏れを止める治療法です。
 平成28年4月から、保険適用となりました。

《専門医療機関の情報》

脳脊髄液減少症の疾病や、県内の専門医療機関の情報を、栃木県ホームページで公表しています。

栃木県 脳脊髄液減少症

検索

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/e04/iryoukikan.html>

<問い合わせ先>

栃木県保健福祉部健康増進課 TEL：028—623—3086